

授業科目	病理学	1 学年・後期・2 単位 (30 時間)	
		理学 作業	必修 必修

科目担当責任者	水口 徹 (保健医療学研究棟 E314 号) e-mail : tmizu@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(三高 俊広)、(一宮 慎吾)、齋藤 重幸、(久野篤史)、(久保 輝文)、(村田 憲治)、(櫻井 晃洋)、(宮西 浩嗣)、(菰澤 慎也)		
概要	病理学では、臨床に必要な病態の基礎となる病理学の総論を体系的に学習する。疾病と病理の関係・役割を理解する。細胞レベルで起きる組織の再生や修復のメカニズムを理解する。循環障害として浮腫・出血・血栓塞栓を理解する。炎症と免疫・移植拒絶について理解する。感染症について理解する。先天性代謝異常や遺伝異常症について理解する。老化と死について理解する。腫瘍の基礎を理解する。臨床病態を把握できる、基礎的な知識を涵養する。		
到達目標	疾病の病因を理解できるようになることを目的とする。下記の各項目について、基礎的知識を身に付け、要約できる。 1. 病理学の定義・病因 2. 細胞・組織の機能と障害, 3. 循環障害と凝固線溶異常, 4. 炎症・免疫・生体防御, 5. 感染症の病態、病原微生物の特性, 6. 先天性代謝異常・遺伝病, 7. 腫瘍性病変の特徴 *関連する国家試験問題に対して70%以上の正答を得ることが出来る。		
関連科目	解剖学、生理学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	試験	100%	評価は試験によって行う(100%)。ただし、授業参加の良い場合には10%程度の加点を行う場合がある。
教科書	①大橋健一ら(編集) [最新版] 「[系統看護学講座 専門基礎分野] 病理学」 医学書院		
参考書	①小林正伸 (著) [最新版] 「病理学 病態形成の基本的な仕組み」 南山堂 ② [最新版] 「クエスチョン・バンク 理学療法士・作業療法士国家試験問題解説共通問題」 MEDIC MEDIA		
履修上の留意点	学習内容の講義順序や講義時間が変更されることがあるので、学生掲示板などで逐次講義予定を確認すること。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	病理学概説、病気の原因	事前：指定教科書にて予習する。	講義	水口
2	炎症の概念、急性炎症、慢性炎症、炎症細胞	事前：指定教科書にて予習する。	〃	〃
3	細胞の構造と機能、細胞障害、細胞増殖、細胞死	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(三高)
4	組織再生、組織修復、創傷治癒、異物処理機構	事前：指定教科書にて予習する。	〃	〃
5	老化の概念、老化機構、疾患との関連	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(一宮)
6	循環動態、浮腫、虚血、鬱血、ショック	事前：指定教科書にて予習する。	〃	齋藤
7	出血と止血機構、血栓形成、塞栓、梗塞、DIC	事前：指定教科書にて予習する。	〃	〃
8	環境と栄養異常	事前：指定教科書にて予習する。	〃	〃

9	代謝異常、脂質代謝異常、蛋白代謝異常	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(久野)
10	免疫の概念、生体防御機構	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(久保)
11	免疫細胞、免疫組織、免疫認識機構、HLA、エフェクター機構	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(村田)
12	染色体異常、遺伝病、遺伝子診断、遺伝カウンセリング	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(櫻井)
13	発癌機構、進展と転移、癌の病期、診断の基礎	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(宮西)
14	感染微生物の種類、検出法、伝搬様式、感染病態	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(菰澤)
15	細菌感染症、ウイルス感染症、真菌感染症	事前：指定教科書にて予習する。	〃	水口